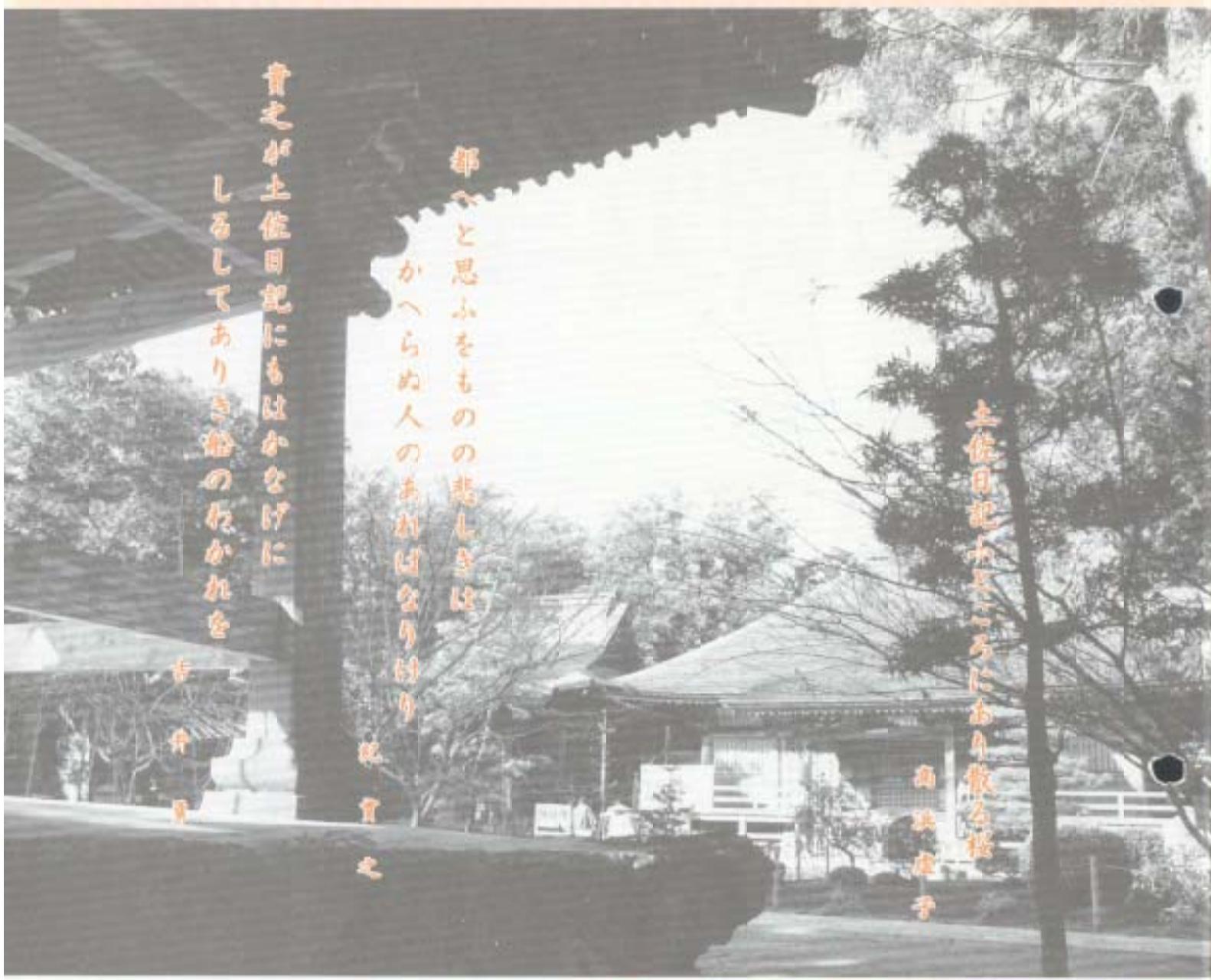


広報 佐久く

12

No.599



あなたの心を詠んでください

土佐日記門出の祭りが、今年も12月21日（月）、比江の国街跡で行われます。

今年は、東京の大学生らが参加し、京都までの船旅を追体験するほか、歌人としての紀貫之をしのぼうと、短歌・俳句を募集することになりました。

こよなく土佐を愛した吉井勇の心情を想い、貴之御跡に遊んだ虚子にこだえ、それにあなたのフレッシュさをプラスして、作品をお寄せください。お待ちしております。

インフォメーション

特集「伝統産業に生きる」	②~⑤
市政ニュース	
「3年度財政状況の公表ほか」	⑥~⑪
保健だより	⑫
市民サロン	⑬⑭
子供の広場	⑮
教育コーナー	⑯
お知らせ	⑰⑱
カメラリポート	⑲⑳
保健・衛生カレンダー	㉑㉒
11月の行事予定	㉓

造る

吉本正行さん
兎崎

市内にはいろいろな職業の人々が生活を営んでいます。産業はその時代時代の特色を映しだす鏡。一次産業に従事する人、最先端のサービス業に従事する人。しかし、先端産業も時の移りのなかで、時代のひのき舞台から去っていくのも必然です。

今回は、そうした失われつつある伝統産業に携わりながら、その道に一途に打ち込んでいる人にスポットを当ててみました。

はく製

高島田常惠さん

物部



作業場に一步踏み込むと、立ち並ぶ毘沙門天や不動明王、仁王さま、般若さま。その中央に、仏像に彫刻刀を入れる吉本さんの姿がありました。小さいころから彫るのが好きで、木を削って遊んでいたそうです。京都で十年ほどの経営生活の後、帰郷。現在伝統的な彫り方を学んで生業としているのは県下で一人だそうです。

今はもっぱらお寺の仏像の修理。なかには個人的に仏像を頼みに来る人もいます。装飾品や美術品として求められます。信仰の対象としてこだわる必要はないのでしょうか」と言う吉本さん自身、彫刻に魅せられた一人。

高島田さんは今年で七十九歳。昭和二十六年、義父が死去したのをきっかけに、その後を繼ぐ形でく製作りを始めました。「農家であったため、義父も私も生活のためになく、農業の合間の道楽程度でした。昔は獣が解禁になるとたくさん飼われたものです。最近は禁獣になつた鳥も多くなり、持つてくる人もぐっと減りました。クマタカなどの猛禽類は翼の模様にも気品があり、大好きですが、姿を見ることがほとんどなくなりました」五十六年前に事故で死んだクマタカを林野庁の依頼で手掛けたのが最後のこと。

「この近くの物部川の河口にも、昔は

ナベヅルやアオサギが飛来していましたし、ベニズメやレンジャクなどの、かわいくて美しい鳥がたくさん身近に見れたものです」河川改修や天然林の減少の進むなかで、多くの種類の生き物が消滅し、さらに狩猟による乱獲が原因と、「私も年ですし、ちょうどどこのろ合いかも」と長いはく製作りを振り返って、少しさみしそうに、はく製造りが産業として成り立つためには、野にも山にも多くの生き物が生活し、豊かな自然に恵まれていなければならぬことを語っています。

欄間

三好至さん

久礼田



「彫ることは何も考へていません。作品に対する思い入れが強すぎると、客観的に見ることができませんから、作品を突き放して見れることが、上達の第一歩でしょう。名のある仏師の作品にあつかると、やはり、自分の未熟さを思い知られますね。それと安らぎですかねえ」と彫刻に対する思いを語ってくれました。

三十歳ほどのものを彫るのに一ヶ月かかるという根気のいる作業。これからも、ひのきや桟などの中片に、数多くの仏様が彫りこまれ生命力が吹き込まれていきます。

「厳しい修業も彫刻が好きだからこそ我慢できただんです」と昔を振り返り語つてくれる者は、久礼田でランマ製作所を営む三好さん。子供のころから彫刻が好きで、十五歳から一人大阪の彫刻家のところで修業を積み、それ以来今まで二十九年間、欄間を彫り続けています。

「既成の原画は抜っていません。二

つ同じ欄間を造らないように努力して

るんです。何にしてもそうですが、世の中に二つ同じものがあったら、それ

自体の価値が半減してしまうでしょう。

下絵はお客様の要望に合わせ、立場

を考えた上で、自分の納得がいくまで何度も描き直します。そして一つ一つ

自分の手で彫っていきます」と職人気質らしく自分に大変難しい三好さん、欄間をいかに動きのあるものにするかがとても難しいそうで、「桜の葉一枚の向きによつても受ける印象がずいぶん違うんですよ。全体の絵の動きを把握して、より実物と自然に近い形で彫つていかなければいけないんです」とのこと。

「わたしの未熟な彫りをお客さんが注文してくださる以上、精一杯の仕事をさせてもらいたいです。私の彫った欄間が長い年月飾つてもらえたらとてもうれしいですね。また家を壊しても磨き直して新築の家に飾つてもらえるくらいの欄間を彫つて行きたいです」

「厳しい修業も彫刻が好きだからこそ我慢できただんです」と昔を振り返り語つてくれる者は、久礼田でランマ製作所を営む三好さん。子供のころから彫刻が好きで、十五歳から一人大阪の彫刻家のところで修業を積み、それ以来今まで二十九年間、欄間を彫り続けています。

「既成の原画は抜っていません。二つ同じ欄間を造らないように努力して

るんです。何にしてもそうですが、世の中に二つ同じものがあったら、それ

自体の価値が半減してしまうでしょう。

下絵はお客様の要望に合わせ、立場

を考えた上で、自分の納得がいくまで何度も描き直します。そして一つ一つ

自分の手で彫つていきます」と職人気質らしく自分に大変難しい三好さん、欄間をいかに動きのあるものにするかがとても難しいそうで、「桜の葉一枚の向きによつても受ける印象がずいぶん違うんですよ。全体の絵の動きを把握して、より実物と自然に近い形で彫つていかなければいけないんです」とのこと。

「わたしの未熟な彫りをお客さんが注文してくださる以上、精一杯の仕事をさせてもらいたいです。私の彫った欄間が長い年月飾つてもらえたらとてもうれしいですね。また家を壊しても磨き直して新築の家に飾つてもらえるくらいの欄間を彫つて行きたいです」

刀

岩本貞弘さん 大塙

「自分の打った刀や満足のいくものは一本もありません。気に入るものは一生できませんでしょ」

妥協することなく、常に理想に近づくために刀を打ち続ける岩本さん。職人らしい一本筋の通った頑固な方です。

「父との出会いは、小学校のとき、鑑賞会で見た刀が一目で好きになりました」中学校に入つてからは知り合いの研ぎ師の家に出入りし、刀のことを学んでいたそうです。



ひのき笠

宮本秀子さん 奈路



お通路さんに欠かせないのがヒノキ笠。その笠を生産しているのが宮本さん。

注文は多いですが、作り手が不足していて、秀子さんの作業所でも笠を縫えるのは宮本一二三さん（写真の方）だけに。

「戦後しばらくは、この地区の住民の半数がこのヒノキ笠の生産で生活していましたが、今は二軒になってしましました」と当時にぎわいを思い出すように語って、くれました。

かつてはほとんどが手作業で、一つの笠を作るのに、木を削る人、生地に縫う人、縫うなど多くの人が分業で作っていたとのこと。

秀子さんは、長崎の原爆でご主人を亡くしてからは、女手一つでこの仕事を

を続け、三人の子供を育てきました。

「以前は生活必需品で、ほとんどを北陸方面に出荷していました。当時は寝るところ以外は家中は笠でいっぱい。子供も学校から帰るとアルバイトをして小遣ハを稼いでいました」

生活様式の変化から、笠はさほど必要とされなくなり、産業としては衰退していきました。

しかし、この地区にも明るい話題が市街地に比較的近いため、最近は若い人もかなり定住し、そのなかから地域興しのグループも活躍。「おかげで奈路が多くの人々に知られるようになります」とやぎ声が聞こえますよ」



神社

前中善雄さん 大塙

建築業を営む前中さんは最近では数少なくなった宮大工さんで、県内の神社を改築・改修したりと、活躍中。今年十月に長岡の八坂神社の改築を終え、落成を迎えたばかり。

「最初は掛物大工を目指して家具などの造り方を勉強してきました。でも時代の流れと共に機械化され、自分の手で一つの物を造れなくなってしまった。そこで一品自分で造れるものは家しかないと思い、宮大工を一生の仕事に進んだんです」



それから約十一年間の修業生活。初めて神社を改築したのは十年くらい前で、南障山の神母神社。その後七洞神社など、数々の神社を手掛けました。

「大工という仕事は一ミリ単位の細かさを要求される仕事なので大変難しいですが、その分やりがいがありますね。一つの神社を完成させるのに七カ月くらいかかります。これから先、何百年も残つていくものだから、誠心誠意真心を込めて取り組まないといけません。建築中は肉類は食べないようにしてゐるんですよ」と仕事にかける心意気が感じられます。

今でも本を読んだり、実際にいろいろ神社を見に行って研究したりと、大変勉強熱心な前中さんの夢は、大きな寺社の建設とのこと。ますます後継者不足が深刻化してくるこれからの中、前中さんのような若い宮大工さんの活躍は大変頼もしく感じられます。

保育所に入所を希望する方に

■常日■悲 ■認 ◆ その他の保育所へ入所できるのは、両親が保育所へ入所できるのは、両親が来年四月から子供を保育所にささいたい皆さん、申請書は次のように各保育所で直接して受け付けてます。●妊娠中としていることの家事以外で当該児童を離れてることを常になります。

保育所への入所基準

■長期間にわたり疾病の状態にあるか、精神もしくは身体に障害を有していること、居の親族を常時介護していること、火災その他の災害が特に必要と認められる場合に用意してあります。また、現在入所を通過する児童についても、現に申請用紙は一月六日から前各号にあたつてあります。決算書は三月下旬に通知します。保育所の可否についても、現在入所する予定です。

日	曜	面接場所	時間
1/13	木	十市保育所	9:30~16:00
14	木	岡豊保育所	9:30~16:00
18	月	国府保育所 里保育所	9:30~12:00 9:30~15:00
19	火	あけぼの保育所 明見保育所	9:30~15:00 9:30~12:00
20	水	復興保育所	9:30~16:00
21	木	浜改田保育園 大湊保育所	9:30~15:00 9:30~15:00
22	金	久礼田保育所	9:30~15:00
25	月	都生保育所 岩保育所	9:30~15:00 9:30~12:00
26	火	長岡西部保育所	9:30~16:00
27	水	大森保育所	9:30~16:00
28	木	長岡東部保育所	9:30~15:00
29	金	吾岡保育園 市役所民生課	9:30~15:00 9:30~15:00

※正午から午後1時までは、休憩時間。

このように使われました

総額175億3千7百万円

土木費

41億8千3百万円



- 市道103号線改良などの道路改良や維持管理
- 小保育所改修などの河川の改良や維持管理
- 都市計画費など

総務費

17億8千3百万円



- 市庁舎の維持管理
- 職員の給料や退職金
- 市長選挙などの選挙費
- 広報誌の発行
- 統計調査費など

農林水産業費

8億9千8百万円



- 転作安定対策事業などの農業振興費
- 林業や水産業の振興費
- 土木改良事業や防護施設事業費など

民生費

51億5千3百万円



- 小集落地区改良事業
- あけぼの保育所建設などの児童福祉費
- 生活保護費
- 社会福祉費など

その他

36億4千8百万円



- 公債費 15.7億円
- 衛生費 8.4億円
- 消防費 4.8億円
- 商工費 1.8億円
- 労働費 1.9億円など

教育費

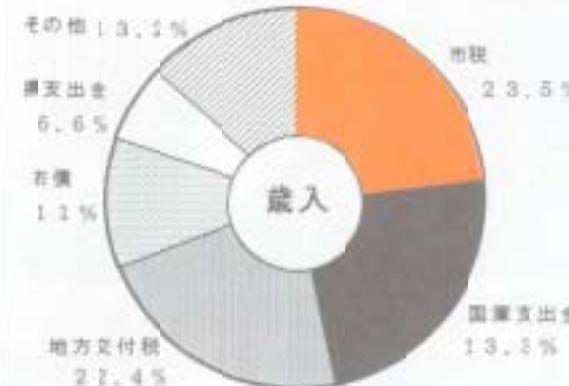
18億7千2百万円



- 久礼田小学校改築
- 岡豊小学校改築
- 岡豊小給食施設改築
- 奈路小屋内運動場新築
- 学校の維持管理費など

市の収入は

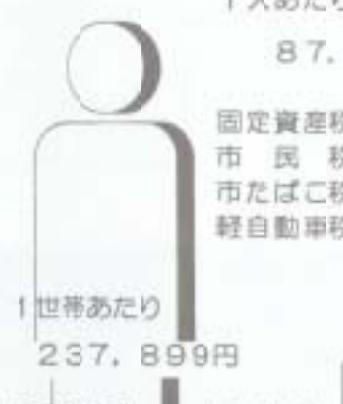
総額177億3千7百万円



歳入の内訳

市税	41億5千9百万円
國庫支出金	41億3千3百万円
地方交付税	39億8千万円
市債	19億6千万円
県支出金	11億6千8百万円
その他	23億3千7百万円

市民の税の負担は?



1世帯あたり
237,899円

固定資産税	115,341円
市民税	106,355円
市たばこ税	10,497円
軽自動車税	5,706円

南国市の人口・世帯数
47,694人
17,482世帯
(平成4年3月31日)

平成3年度の南国市普通会計の決算状況は、歳入は一七億九千九百二十一万円で、前年より二億六千七十七万円(7.4%)の増加で、歳出は一億九千九十九万円で、前年より一三億一十五万五千円(八.1%)の増加で、歳入歳出の差し引きでは、二〇万円の黒字となります。

歳入歳出の差し引きでは、一億九千九百二十一万円の黒字ですが、要年度に繰り越す財源を引いた実質収支は、二〇〇万円の黒字となります。歳入では市民税や固定資産税などの自家財源の占める割合は、三二・五%、残りの六七・五%は、地方交付税、國庫支出金、市債などの依存財源になっています。歳出の主なものは、小集落地区改良事業の仕上げのための事業の消化に努めた民生費の二九・四%をトップに土木

合は、三二・五%、残りの六七・五%は、地方交付税、國庫支出金、市債などの依存財源になっています。歳出の主なものは、小集落地区改良事業の仕上げのための事業の消化に努めた民生費の二九・四%をトップに土木

費の二三・九%、久礼田小学校・岡豊小学校の増改築などの教育費に二〇・七%を支出しました。また、地方債借入金残高は、一大一億八千八十五万円と八六%の増加で、財政にどれだけの彈力性があるかを示す経常収支比率は七八・二%で、三・七%増となりやや悪化。運営に留意するよう努力を払う必要があります。

持別会計決算			
区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	31億3950万円	32億2671万円	-1279万円(赤字) 賃貸料△1318万円)
住宅新築資金等貸付事業	4億592万円	4億898万円	△306万円
下水道事業	6億7218万円	6億7218万円	
老人保健	33億6777万円	39億8056万円	△1279万円
水道(収益)	4億3974万円	4億2426万円	1548万円

幼い愛娘を帰京前に失った悲しさを慰めて

第9回

土佐日記 門出のまつり

【目的】

1950年昔、紀貫之が書いた「土佐日記」門出の日（昭和4年12月21日）をしのぶとともに、紀氏業績の紹介普及を図り、新しい文化を創造していくとするものである。

【日時と場所】

平成4年12月21日（月）

- 開会式
・俳句と短歌の集い 午前11時開幕式
・入選作品展示 午後2時～3時
場所 南国市比江 紀氏邸跡（国司館跡）

- 開会式
・典説 午後3時～4時
・門出の法要
・「まほらば唯子」奉納
・国府小学校6年生一同による「土佐日記」朗読奉納
・北陵中学校生徒入賞俳句作品の発表
・東京の大学生連の「Y.A.R.U.K.I大賞」受賞グループ、「土佐日記」油地巡り一行の出発式
場所 南国市比江 紀氏邸跡（国司館跡）
- 懇親会 午後4時30分～6時30分
場所 国府小学校屋内体育館

前日無行事

紀貫之国司行列

【日時】

12月20日（日）午後1時～3時

【コース】

大橋通り～帝星町～新京橋～京町～帝星町～グリーンロード～日曜市（予定）

【行列一行】

貫之、国分寺住職、侍女、まほらば唯子の唯子連中、「Y.A.R.U.K.I大賞」受賞グループ、他

俳句・短歌作品募集

用意	1人2句(首)とし、郵送と投稿箱に投稿する方法と2つあります。
競技用紙	郵送受付／平成4年12月1日～12月15日（市社会教育課必着）
監査委員	送付先 〒783 南国市大塙甲2301 南国市社会教育課 矢野日記門出のまつり事務局 のまつり事務局 のまつり事務局

お問い合わせは南国市社会教育課（市役所内線321）まで

おめでとうございます
市民賞

プロフィール

宮本忠夫さん（73歳）

奈路



昭和22年より昭和31年まで上倉村収入役、上倉村議会議員として活動。また、農業協同組合、共済組合の理事、監事、専務理事などを歴任。

現在も奈路老人クラブ会長として、地区的福祉の向上と生活の安定のため活動されています。

それはき代でまだ二歳の頃より、桜年齢止まらず、毎年ラスティック賞受賞、十歳までの開花木前での活動が、三十歳の人には若く、二十歳の現役で活躍しています。わんは若い時代から活躍していましたが、二十歳のときに作曲した曲が百曲以上あります。それで子供たが半蔵はをたしましたが、百曲以上で本はたるはいいは、「たやうつがでてほも、おと

プロフィール

濱口寅猪さん（72歳）

浜改田



昭和27年より昭和32年まで三和村議員として活動。また、高知県聴覚障害者親の会理事などを長期にわたり勤めました。

特に民生児童委員として32年の長い間、社会福祉のためにつくされました。

私が話した子供自身はそんなに変わりました。それが、まほらばの二世代同居では、農家の親子の交流も増えていますね。近所で取り組みもありますが、一時期非常に忙しかったことはあります。それでも、お孫さんはかづつてよい環境など、お孫さんがたくさんいるところでは、農家の親子の交流も増えていますね。近所で取り組みもありますが、一時期非常に忙しかったことはあります。それでも、お孫さんはかづつてよい環境など、お孫さんがたくさんいるところでは、農家の親子の交流も増えていますね。

★★★★★
人権運動のお知らせ
人権擁護委員はあなたのお手伝いです。

このシリーズでは、南国市の水道についてお知らせします

★ ★ ★ ★ ★
国際化にふさわしい
人権意識を育てよう。
部落差別をなくそう。
女性の地位を高めよう。
高齢者の人権を尊重
しよう。

障害者の完全参加と
平等を実現しよう。
人権擁護委員は
あなたのお手伝いです。

この特集では、南国市の水道についてお知らせします
特級水を飲みましょう



特に、部落差別は、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別に由来するもので、今なお結婚を防げられたり、就職で不公平に扱われたり、その差別が行なわれていることがあります。このような差別は重大な人権問題であります。人々の苦しみ、悲しみの痛みを真剣に考え、悲しみ

人権擁護委員		
橋田憲一	片山	65-8373
二宮純夫	下末松	64-3902
田内稔治	国分	62-1438
沢村良	久礼田	62-0913
久万富士	久枝乙	65-1258
内海春子	大塙甲	64-4063
中橋千秋	福生	65-0022
東村達夫	立田	63-2079

この特集では、南国市の水道についてお知らせします
特級水を飲みましょう

特別な净化作用によって精製された水道水です。さらに、この原水を薬品の力で浄化したものが、一般的の下流水になります。二級水はといいます。汚染された下流河川の水や富栄養化されたプランктонが出た湖沼水を経て、過度に汚染した水のことをいいます。そして、三級水というのは汚染された原水を多量の薬品を用いた緩和過程によって浄化したもの

保健



がんばってます！リハビリ教室

～一緒にやってみませんか～

「脳卒中などで体が不自由になり、自宅に閉じこもっている方はいませんか？」

保健課では毎月2回、第2・4木曜日、社会福祉センターでリハビリ教室を開催しています。

教室では機能訓練だけでなく、「陽気で楽しく」をモットーとして、一緒に歌を歌ったり、体操をしたり、陶芸などの手芸を取り組んだり、年に2回は外に出かけたりして、仲間づくりや生涯的な学習を行っています。

現在は毎回12～13人の方が頑張っています。仲間に入って一緒にやってみませんか。

「まあ、一回きてみいや。楽しいぞね」

お問い合わせは保健課保健係（市役所内線141）
保健婦室（市役所内線345）まで。

新しく農業委員に選ばれたのは次の皆さんです。

(平成4.11.11～7.11.16)

氏名	地区	区分
浜田 魁	三和	選
土居 篤男	十市	選
岡田 模	日章	選
樋田 芳雄	大篠	選
西本 幸輝	浜岩	選
浜田 碩哉	久礼田	選
浜田 健一郎	岡豊町	選
山本 幸身	大篠	選
久万 雅壽	長岡	選
常徳 一郎	日章	選
久万 男幸	国府	選
武市 忠雄	大篠	選
今井 定	上倉	選
岡崎 信雄	岡豊町	選
土居 寛	十市	選
須藤 政男	長岡	選
門田 基	久礼田	選
西本 輝猪	岩	選
吉井 美勝	日章	選
田所 昭一	長岡	選
中沢 恵一	船生	選
中沢 介寛	船生	選
竹内 秋男	上倉	選
浜田 幸男	三和	選
樋田 義幸	岡豊町	選
浜田 庄平	日章	選
浜口 信重	三和	選
平山 長	長岡	選
古川 孝雄	久礼田	選
西岡 高則	野田	選
北村 福徳	久礼田	農
池知 幸雄	長岡	農
関田 昭男	三和	農
森尾 稔	十市	農
庄川 弘	大篠	共
大原 正美	前浜	議
刈谷 哲夫	前浜	議
川添 義明	長岡	議
北村 明	日章	議
紀伊 駿	大篠	議

※選＝公選委員、議＝議会選出委員
農＝農協選出委員、共＝共済選出委員

申請は
1月10日までに
～もれなく提出を～

農業委員会委員の選挙人名簿は、毎年1月1日現在で調製されます。

申請用紙を郵送しますので、農業委員会まで必ず提出してください。

新しく農業を始めた方で、申請用紙が郵送されなかった農家の方は、農業委員会・選挙管理委員会に用紙がありますので連絡してください。

提出のないときは、選挙権・被選挙権が得られることになります。

農
申請によつて
名簿に登載

農業委員会委員選挙人名簿登載申請書

農業委員会は
農家の利益代表

農業委員会は、農地の売買や転用などの許可、農業・農政への提言など、農業・農政の一般的な利益を代表する行政機関です。農業者にとって農地を守り、農政全般についてのよき相談相手でもあります。農業委員は、農業者にとって大切な使命です。身近な味方であり、立派な農業委員を選ぶことができます。

資格のある人とは
①満二十歳以上である人（平成五年三月三十一日現在）
②二十歳以上の農地について耕作の業務を営む人
③耕作の業務を営む人と同居している親族、配偶者等
④三十歳未満たはその人の配偶者で、年間おおむね六十日以上耕作に従事する人
※選書が手元に届かない場合は、市農業委員会事務局

南国市内5農協

平成6年4月合併へ

貿易・金融の自由化に伴う競争激化、高齢化、後継者不足など、農業・農村をめぐる環境は厳しいものです。この状況を乗り切るために管内農家が大团结しようと、南国市管内5農協(南国市、長岡、高知三和、十市、岩村)は昭和63年3月、南国地区農協合併研究協議会を結成し、農業や各農協事業の実態調査を行う一方、合併を進めるための研究討議を重ねてきました。

地域農業の振興、生活文化活動化や合併後の農協事業のサービス強化などをめざし、足腰の強い魅力のある農協を作るためには、

○地域の農業を組織的、計画的に振興していくための農協の機能を強める。

○農家の営農活動、生活・文化活動の期待にこたえるための事業機能を強める。

○農協の規模をそろえることにより、農家の経済に貢献しうる系統農協全体の事業の効率化を図る。

など、合併による規模拡大を通じて体制、基盤整備をすることが必要です。

日ごろ関係者、組合員の方などから、■合併したら組合員との結びつきが弱くならないか、■施設の利用が不便になりはしないか、■業務権限の本所集中で、組合員が不便にならないか、■採算性ばかり重視しサービス低下、あるいは、営農指導体制が不十分になりはしないか、■小規模農家は見捨てられるのではないかなどいろいろ耳にしますが、これらの点にも考慮しつつ、合理化や、大口取り引きの有利性をいかしながら、仕入れ供給機能の整備、共同販売の強化、集出荷經費、事務などの合理化による渉外体制を強めるよう、また、組合員のニーズにこたえる体制、営農指導をはじめ、生活活動・税務・財産運用など、相談活動の強化をはかりたいと考えています。

これから各農協ごとに集落座談会などを通じて、組合員の方の意見も頂きながら平成6年4月1日新農協発足に向けて、鋭意進めて行きますので、よろしくご支援ご協力いただきますようお願いします。

なお、名称は南国市農業協同組合とし、本所は現南国市農協会館となります。

保健



がんばってます！リハビリ教室

～一緒にやってみませんか～

「脳卒中などで体が不自由になり、自宅に閉じこもっている方はいませんか？」

保健課では毎月2回、第2・4水曜日、社会福祉センターでリハビリ教室を開催しています。

教室では機能訓練だけでなく、「陽気で楽しく」をモットーとして、一緒に歌を歌ったり、体操をしたり、陶芸などの手芸に取り組んだり、年に2回は外に出かけたりして、仲間づくりや生涯的な学習を行っています。

現在は毎回12～13人が頑張っています。仲間に入って一緒にやってみませんか。

「まあ、一回きてみハヤ。楽しいぞね」

※お問い合わせは保健課保健係（市役所内線141）
保健婦室（市役所内線345）まで。

新しく農業委員に選ばれたのは次の皆さんです。

（平成4.11.17～7.11.15）

氏名	地区	区分
浜田 勉	三和	選
土居 寛男	十市	選
岡田 模	日章	選
橋田 芳雄	大篠	選
西本 幸輝	瓶岩	選
浜田 碩哉	久礼田	選
浜田 健一郎	岡豊町	選
山本 幸身	大篠	選
久万 雅壽	長岡	選
常徳 一郎	日章	選
久万 男幸	国府	選
武市 忠雄	大篠	選
今井 定	上倉	選
岡崎 信雄	岡豊町	選
土居 寛	十市	選
須藤 政男	長岡	選
門田 基	久礼田	選
西本 輝猪	岩	選
吉井 英勝	日章	選
田所 昭一	長岡	選
中沢 憲一	稻生	選
中沢 芳寛	稻生	選
竹内 秋男	上倉	選
浜田 幸男	三和	選
横田 義幸	岡豊町	選
浜田 庄平	日章	選
浜口 信重	三和	選
平山 長	長岡	選
吉川 孝雄	久礼田	選
西岡 高則	野田	選
北村 福徳	久礼田	農
池知 幸雄	長岡	農
闇田 昭男	三和	農
森尾 稔	十市	農
薩川 弘	大篠	共
大原 正美	前浜	議
井谷 哲夫	前浜	議
川添 義明	長岡	議
北村 明	日章	議
紀伊 雄	大篠	議

※選＝公選委員、議＝議会選出委員

農＝農協選出委員、共＝共済選出委員

（代表口村昭弘さん）。

今回は、この教室の少年たちが行っている全国でも珍しい防犯パレードの様子について、中村さんからい

て詳しくお話を紹介します。

中村柔道教室（南国警察署

少年柔道教室）では、毎年六

十二年度より毎年春四月に

「春の全国交通安全週間」に

合わせて交通安全のキャンペー

ンを行っています。

これは、南国バイパス、物

部インター（エンジから新須

の駅太郎本部前までを五区に

分けて、駅伝形式で走るもの

で、全員が柔道着姿でスローガンを書いた手旗を持ちます。

秋の「全国防犯週間」には、

後免町商店街および周辺を、

このページは市民の皆さんによる文芸作品やご意見をお気軽にお寄せください。

締め切りは毎月10日です。
あて先は南国市企画課市民サロン係（〒783南国市大浦町2301）です。

市民一 サロン

このページは市民の皆さんによる文芸作品やご意見をお気軽にお寄せください。

締め切りは毎月10日です。
あて先は南国市企画課市民サロン係（〒783南国市大浦町2301）です。

そろそろ出番だ 葛目義人（岡豊町）



これも防犯啓発のスローガンを書いた手旗を持って行出し、市民の防犯意識の高揚を図るのです。

この年二回の、当柔道教室による社会活動は、全国の署の青少年健全感活動の中でも大変めずらしい行動らしく、高知県警の防犯少年課でも好評を得ています。

子供たちが柔道を修得する活動に自主的に参加することは自ら社会のルールを守ること

の大切さを学ぶことは、むしより、地域社会の防犯および交通安全の確立に微力ながら貢献しているものと見えます。今後も道場が存続する限り、続けていくつもりです。



南国俳壇

除夜の鐘百に一段近くなり
ワケ知らぬ紫山子に雀のアキレ顛
年一度会える奉しみ運動会

十市沢村鶴一
黒改田福井英子
田村川口岩春
下野田藤原悦子
久礼田澤村良
大浦川田玉恵
下野田藤原悦子
田村久保仁子
浜改田竹島いはほ
片山市原遊亀

南国歌壇

赤や黄みどり盛りなす山の城
きれいきれいと声車内にはじく
しがらみの瀬越しに隼ふねばたまの
鶴の群れに白鷺一羽
洗わば走いたし君にも君にも

三島有元一馬
植野中司愛子
大浦田所志菜
立田北村幸江
岡田桂子
里改田福井英子
黒改田福井英子
田村川口岩春
下野田藤原悦子
久礼田澤村良
大浦川田玉恵
下野田藤原悦子
田村久保仁子
浜改田竹島いはほ
片山市原遊亀

全国大会出場を目指して



今日は三和のママさんバレーボールチーム「三和こんびら」を紹介します。

家事を済ませ、メンバーたるが一人、二人と三和小学校の体育館へ集まってきた。

「三和こんびら」チームの練習日は毎週水曜日と金曜日の午後八時から。監督の中田宗教さんを中心に二十歳代から五十一歳代のママさん約二十人が練習に心地よい汗を流しています。

このチームはみんなバレーボール経験者で、基礎は十分。

エースアタッカードキヤブテノの細川綾子さん、セクター

安岡茂乃さんら実力派選手を

そろえ、春の県大会二年連続

これはなんでしょう



前月の答の中から皆さんの思

い出の一冊をご紹介します。

◆白と赤を混ぜるとピンクにな

り、黄と青を混ぜると緑になる

ことを子供のころ発見し、色の不思議さを感じました。

◆田舎から出てきて一人で暮ら

しているとき、突然絵が描きた

くなり、絵の具を買ひに行きました。

◆子供の絵の具をみていると、

私たちの子供のころにはなかつ

た色がたくさんあり、驚かされ

ます。

◆チューブの中のクリーミムを出

します。宿題にだされた図画のこ

とを思い出します。毎年早めに

描こうと思っていましたが、いつも

休み、宿題にだされた図画のこ

とを思い出します。毎年早めに

描こうと思っていましたが、いつも

取りかかりが遅く、八月三十一日の中までかかっており、よ

く母に怒られたものでした。

◆今は絵の具を使って絵を描くことなんてほとんどなくなつて

子供の広場



乾 抄枝ちゃん
4年



一生懸命描きました



安達寺 修浩くん
5年

国府小学校



高橋晃士くん
1年



福田康道くん
2年



後免野田小学校



十市小 愛鳥クラブ

CLUB クラブ

学校の西に石土池が広がる十市小。毎年この時期になると飛来した野鳥を観察している愛鳥クラブがあります。

つし、それを「宝」に思って、こで出で内蔵い校員の皆さんから、だ鳥かからしていきたいです。いの「石土池で双眼鏡を手に野鳥を見つめ、保護していく心を育てる」ことが目的です。その石土池で双眼鏡を手に野鳥を観察している十人。十市小生・公文先生で十。愛鳥クラブの皆さんと、永野先生、「このクラブは身の回りの自然を見つめ、保護していく心を育てる」こと、やるべきことを見つけられるようになつても、鳥たちには、自動的に自分がやりたいこと、やりたいです。」と永野先生、「鳥が好き、鳥を見つけるのが好き」という方がいるより、「鳥が好き、環境を守ります」という方が多い。環境を守ります。」外



さわやかさに*

森秀子さん・大堀

焼き物では、去年の市長から無審査に。今年四月に教職を退き、焼き物さんまいの生活を考えていましたが…。



平田修二さん・奈路



「平田さんは奈路サッカーハンマーでサッカー親善試合のため来年一月パリ島へ出発します。」

サッカーを始めたのは十二歳のとき。何もかも戻してプレーできるし、みんなで助け合いながらゴールを目指してかく汗は、とても気持ちがいいですね。広い視野で地域や自分たちを見直したと思いま。海外でサッカーを通じた交流を行うことを決意。五年前からチームで少しずつ積立をしてきました。パリ島への出発はもう間近。よい上陸練習の開始です!

焼き物との出会い
は二十数年前。子供への教育に取り入れてから。土をこねるのが嫌
まいな子供は一人もいませんでしたよ。教員生活の最後の三年間は、障害児教

手先を使うことが情操の発育に大切なことを実感しました。生徒の中から花の絵のコンクールで、全国表彰を受けたことが思い出。今は、見事娘の焼き物教室の手伝いなどをしています。

「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育はこれを無償とする。」と新憲法第二条にうたわれています。アメリカ教育観察団の勧告を受け、日本政府は、一九四七年（昭和二二）年から六・三制の新しい義務教育制度を作りました。以前の高等小学校、青年学校は廃止され、三年制の新制中学校がスタートしたのです。

この制度はすべての国民がきちんととした教育を受けることを保障したすぐれた制度でした。しかし、戰後のどん底生活をしていた部書の人々にとっては大きな負担となり、学校へ子どもをやれない家庭も多かったです。

この実情をみかねた長岡村の有志（溝淵信義他）は、知事や県教育委員会にたびたび陳情し、一九四八年（昭和二三）年に萬ヶ池中学校に二名の定期



戦後の解放運動・教育・行政がどうのように行われたか②

福祉教員制度のはじまり

「すべて国民は、法律の定

めることにより、その保護者や不就学生徒を就学させるため、親・子どもの面接をし、悩みを聞き、休みもなく、日々、地区をかけめぐります。また、学校に出られる条件

でもあります。

この両校のすばらしい成果を高く評価した県教育委員会は、一九五〇年（昭和二五）年に全国に先がけて、福祉教員制度を発足させ、県下に一八名の福祉教員を配置しました。

福祉教員が苦労して登校させた生徒たちは、長年の長期欠席・不就学により学校生活になれておらず、学力もきわめて遅れた子どもたちが多くつたので、この子らに対して校長以下全教員が、遅れた学力の補充や学校生活になじませるために、各々の施策に取り組み、学校生活への定着に努めました。

当時の福祉教員たちが、二十九年（昭和二七）年、「今日も机にあら長期欠席・不就学生と取り組んだ記録が一九五二年（昭和二七）年、「今日も机にあら長期欠席・不就学生のほとんどを就学させることに成功しました。

その翌年には、朝倉中学校にも二名の教員（谷内敦蔵）が配置され、七一名の長期欠席・不就学生を完全に解消

同和教育シリーズ

その結果、当時萬ヶ池中学校に在籍していた一六〇余名（全校生徒約六〇〇名）の長期欠席・不就学生のほとんどを就学させることに成功しました。

この翌年には、朝倉中学校にも二名の教員（谷内敦蔵）が配置され、七一名の長期欠席・不就学生を完全に解消

しました。今日でも全国同和教育研究協議会では、この言葉を合言葉にして取り組んでいます。

カメラ リポート



芸術の秋

十月十八日から二十五日まで、南国市・貴志郡を楽しむ市民らでつくる「南国市民文化祭」が開催されました。第一回西国市民文化祭は、島村辰彦会長が行いました。茶れ画、書道などの会員による展示や、洋画、書道などの会員による展示をおさました。また、茶道などの会員による展示をおさました。茶道などの会員による展示をおさました。茶道などの会員による展示をおさました。

明るい家庭はまず健康

積極的な健康づくりを考えてもらおうと、南国市主催の「第4回健康づくり講演会」が10月24日、市農協会館で行われ、約220人が参加しました。

今回は「お母さんは宇宙人」と題して、橋幸夫さんが講演。家族として母親の糖尿病を体験したことを通じて、糖尿病性老人に対する接し方、よりよい介護の方法について話しました。

会場では、車椅子や介護用品等の福祉機器展や、市が主催する「リハビリ教室」の作品展なども行われました。



高知市も仲間入り

東京一極集中の是正と地方の活性化を目的とした地方拠点都市整備法の地域指定は、いよいよ正念場を迎えています。

南国・香美地方拠点都市地域指定推進協議会（大町行治会長）は、11月11日総会を開き、高次都市機能の整備が求められている高知市を含めたエリアを拠点都市とする、県の考えを受け入れる決定をしました。

今後は、協議会の名称を「なんごく・こうち地方拠点都市地域指定推進協議会」に改め、12月中旬に決定される予定の一次の地域指定に向けて、再スタートを切りました。

ほくんちおいでの☆

11月1日から3日まで、市民体育館を会場に、第二十回香美・南国建築祭が開かれました。

これは建築のいろいろなことを、一般の人にも知ってもらうことを目的に、県建築士会と県建設労働組合の香美・南国支部、市建築協会などの主催で行われたもの。

建築会社、設計事務所、材料店など50社ほどが家に関する資料、機器を展示。また、裁子木工あそびや大声大会、フラフープ大会なども行われ、たくさん的人が足をとめ楽しんでいました。



県内初の常設アントが完成した大塙の土曜市会場で、その落成記念も兼ねて、「第十六回南二祭り」が十月三十一日に行われました。これは南国市の活性化のために市商工会（吉村雅男会長）が主催して毎年実施しているもの。テント内では、市土曜市青年部など約九十の出店が立ち並んだほか、土曜市の姉妹市である愛媛県広見町の近永日曜市も友の愛媛県広見町の近永日曜市も友に参加。カラオケ大会やもち投げなども行われ、大勢の人出でにぎわっていました。



商工祭り 大盛況!!



白慢の娘

11月10日、JA南国市野田支所で乳牛共進会が開かれました。

市と市酪農振興協議会の主催で行われたこの催し、今年は発育牛や経産牛など合わせて25頭が参加。審査員が発育状態や体形、全体のバランスなど一頭一頭細かく審査。

会場を訪れた酪農家の方たちは、牛の体重当てクイズを楽しんだり、情報交換をしたりしていました。

皇太子さま いらっしゃい



みんなで楽しく運動会

10月14日、市民体育館で第11回土佐長岡郡・南国市身体障害者大運動会が行われました。

これは障害を持った方が公の場に出ることで、社会参加のための第一歩とすることを目的に、南国市身体障害者連絡協議会（畠山善郎会長）と高知県身体障害者連合会（同）の主催で開かれたもの。

参加した6チーム、約120人の方は、輪投げや玉入れの他、工夫を凝らした競技を楽しく行いました。

第十六回全国育種祭のため来高され、皇太子さまが、十一月二日、高知最後のご視察を甘枝の、県立農業技術センターで行われました。皇太子さまはバイオテクノロジーの研究棟やガラス温室を見学され、アフリカ産の珍しい花などをご覧になりました。アフリカ産の高知での全日程を無事終えられた皇太子さまは高知空港から帰途につかされました。

